映画 イチケイのカラス（2023）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 119分
初公開日 2023/01/13
公開情報 東宝
映倫 G

【キャッチコピー】
真実を明らかにするために――
本当に裁かれるべきは誰か――

【解説】
浅見理都の同名コミックスを竹野内豊と黒木華の主演で実写ドラマ化した人気ＴＶシリーズの劇場版。ドラマ版から２年後を舞台に、岡山に異動した主人公が、真実を求めて国家の暗部に踏み込んでいくさまを描く。共演は小日向文世、山崎育三郎、桜井ユキらドラマ版からの続投組のほか、斎藤工、向井理、柄本時生、西野七瀬、田中みな実、尾上菊之、宮藤官九郎、吉田羊らが新たに参加。監督はドラマ版に引き続き「コンフィデンスマンＪＰ」シリーズの田中亮。
型破りな裁判官・入間みちおが東京地方裁判所第３支部第１刑事部（通称：イチケイ）を去って２年、現在は赴任して間もない岡山地裁秋名支部で、早くも周囲を混乱に陥れていた。そんな彼は、主婦が防衛大臣・鵜城英二に包丁を突きつけたという傷害事件を担当することに。事件の背景にはイージス艦と貨物船の衝突事故があり、不審な点を自ら明らかにしようとするみちおだったが、国家機密を前にいつもの“職権発動”は通用せず、捜査は難航する。いっぽう坂間千鶴は、裁判官の“他職経験制度”で弁護士となり、みちおの隣町で人権派弁護士の月本信吾とバディを組み、活動していた。そんな中、地元の大企業にある疑惑が浮上し、調査に乗り出す坂間だったが…。

【クレジット】

監督	田中亮	
製作	大多亮	
	市川南	
	大川ナオ	
	高見洋平	
プロデューサー	高田雄貴	
	八尾香澄	
ラインプロデューサー	大西洋志	
原作	浅見理都	『イチケイのカラス』（講談社モーニングKC刊）
脚本	浜田秀哉	
撮影	四宮秀俊	
美術	あべ木陽次	
	永井達也	
編集	河村信二	
音響効果	壁谷貴弘	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

音楽	服部隆之			
主題歌	Superfly	Superfly		『Farewell』
照明	木村匡博			
録音	加藤大和			
装飾	稲場裕輔			
	近藤美緒			
ＶＦＸプロデューサー	長井由実			
選曲	大森力也			
スクリプター	荒澤志津子			
助監督	岩城隆一			
出演	竹野内豊		入間みちお	
	黒木華		坂間千鶴	
	斎藤工		月本信吾	
	山崎育三郎		井出伊織	
	柄本時生		土井潤	
	西野七瀬		赤城公子	
	田中みな実		島谷加奈子	
	桜井ユキ		浜谷澪	
	水谷果穂		一ノ瀬糸子	
	平山祐介		木島昌弘	
	津田健次郎		島谷秀彰	
	八木勇征		植木幸太郎	
	八木莉可子			
	橋本淳			
	少路勇介			
	村杉蝉之介			
	高橋侃			
	庵野秀明			（友情出演）
	尾上菊之助		三田村武晴	
	宮藤官九郎		小早川輝夫	
	吉田羊		小早川悦子	
	向井理		鵜城英二	
	小日向文世		駒沢義男	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.